

施設名	第四通洞								
所在地	愛媛県 新居浜市								
管理者等	-								
施設種類・分野	隧道								
施設概要 (明治期との 関連含む)	別子鉱業所は、明治43年に海拔147メートルの端出場から第四通洞を開削し、大正4年に坑口から大堅坑(海拔747メートルから垂直)の地点まで貫通した。昭和5年別子銅山の採鉱本部が端出場に移転、昭和48年の閉山まで主要坑道となり坑内運搬の大動脈として近代化に大きく貢献した。延長4,596m、通洞幅3.65メートルの半円アーチ式煉瓦造、アーチ及び笠木部分は加工された花崗岩積。なお、明治後期、端出場地区には鉄道の運搬拠点と同時に坑内電車や索道のための発電所が設置された。								
築造時期	明治後期			時期詳細	着工明治43年、竣工大正4年				
関連人物	鈴木馬左也(第3代目住友総理事)								
関連企業	住友金属鉱山(株)								
トピックス (特徴的エピソード)	別子銅山採鉱本部跡の端出場には、平成3年に観光施設マイントピア別子が建設された。山の自然と産業遺産が融合する観光施設として観光客が多数訪れている。第四通洞入口には、第15代住友吉左衛門の扁額「第四通洞」、その上部に大山積神社を備え荘厳な構えとなっている。なお、敷地内にある通洞入口は眺望できるが、坑内は非公開。所有・管理は住友金属鉱山である。								
歴史的な遺産等の指定の有無等	○	選奨土木遺産(土木学会)	-	文化財(文化庁)	-	近代化産業遺産(経産省)	○	世界遺産(ユネスコ)	-
その他 (関連資料、文献)	愛媛県近代化遺産総合調査報告書(愛媛県教育委員会文化財保護課 2013年)								
管理者等のHP(URL等)	新居浜市 http://www.city.niihama.lg.jp/								

